



気象庁発表 全国1か月予報(平成30年4月26日発表)

- 全国的に暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の気温は高い見込みです。特に東・西日本では、期間のはじめは気温のかなり高い所があるでしょう。
- 沖縄・奄美は、期間の前半を中心に湿った気流の影響を受けにくいため、向こう1か月の降水量は平年並か少なく日照時間は平年並が多い見込みです。

(4/30~5/31まで)

大型水盤を納入

大型水盤は、環境試料中の放射性物質の濃度を測定するために降下物(降水及び自然に地表に降下するじん埃)を採取するもので、1ヵ月間の雨水、ちりを捕集し単位面積当たりの放射性降下物の月間降下量を推定するために用います。

山形県(山形県衛生研究所)では原子力規制庁からの委託事業である環境放射能水準調査において、この大型水盤を用いて雨雪や大気中に浮遊している放射性物質量の測定試料を採取していますが、既設機器が設置後40年以上経過しているため、採取した雨水にコンタミネーション(過去の試料が混ざって混入する)が懸念されるため、また既設には凍結防止ヒータが無いため、冬期間は冰雪を解凍するために水盤にお湯をかけており作業中に異物等が混入する恐れもあることからヒータを備えた大型水盤に更新を致しました。

また北海道電力(泊発電所)、北海道庁(北海道原子力環境センター)でも大型水盤を採用頂いていますが、こちらの機種は、冬期間はヒータにより氷結を防ぐと同時に降雪も溶かし、水盤がオーバーフローしないように水位レベルを自動制御し、汲水時には自動給水も行う自動制御機能を搭載した大型水盤となっています。



山形県衛生研究所 大型水盤3



山形県衛生研究所 大型水盤



北海道原子力環境センター 殿 US-800-HT型大型水盤